

「こわくないよ」

内科検診の後、3歳児の子どもたちの間では、お医者さんごっこが盛んになりました。

「痛くしないでくださいわね。」  
「はい、注射しますよ。」



あそんでいたIくんが、ふと顔を上げました。

「ほくね、今日、病院に行き注射するん。……うん。ほく『お医者さんごっこ』楽しいから、病院もこわくないよ。」  
「インフルエンザの予防注射かな? ……そう?! すごいわね。」



そして翌日の朝。

「先生、注射してきましたよ! ちょっとだけ泣いたけど、大丈夫やったよ。ねえ、今日も『お医者さんごっこ』しよう!」  
「そう。Iくん、えらかったね。」



インタビューごっこをしているときに、マイクを向けられたIくん。

「好きなあそびは何ですか?」  
「お医者さんごっこ!」  
「痛くないです。」  
「注射しますよ。」  
「こんどやりとりを、楽しみながら、ごっこあそびが、続いています。」



「今日は何の日?」

10月の誕生会当日、おとうさんと一緒に登園した4歳児のJくんは、元気いっぱいです。

「おはよう! ねえ、ねえ、Kちゃん。今日、何の日か知ってる?」



玄関で、くつを脱いでいた2歳児のKちゃんは、思わず"キョトン"とした表情で、おとうさんと顔を見合わせました。



「今日ね、ほくとしくん(同じクラス)の誕生会なん。」

「昨日の夜から、楽しみで楽しみで……。」  
「なるほど。おめでとう! Jくん。」



待ちに待った誕生会のステージに立ったJくん。満面の笑顔から、大きな喜びが伝わってきました。

